
2020年度 愛知県立大学生涯発達研究所事業報告

1. 生涯発達研究所会議

次期新研究所について、意見交換し、申請準備をした。

2. 研究事業

A 「困難をかかえる子ども・若者に対する地域協働による発達支援に関する総合的研究」

(1) 愛知県総合教育センターとの共同研究「特別支援教育におけるモデル実践の検討」今年度から3年間の計画で開始した（研究打ち合わせ・研究会6月、9月、10月、11月、2月）。

(2) 通常学級への巡回相談

瀬戸市の小中学校へ、本学教員及び研究協力員による巡回相談を実施した。

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、2学期のみ）

(3) 多職種連携研究会：

実践者と研究所関係研究者が共同で事例に基づき、解決策や課題を検討した。本学大学院人間発達学研究科院生も参加した。（新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、予定が中止されたものがある）

〈スクールソーシャルワーク部会・SSWr対象〉

・第1回研究会 9月26日（土）参加者10名

・第2回研究会 11月14日（土）参加者12名

〈虐待及び発達障がいのある子どもを抱える家庭への支援〉

・第1回事例検討会 8月7日（金）

B 「早期子ども発達支援担当職員の体系的研修実施に係るプログラム作成」を受託

受託期間：2020年4月～2021年3月 担当：三山岳・山本理絵・瀬野由衣

3. 研修事業

(1) セミナー

① 7月11日（土）「多文化社会の異文化『終活』を考えるセミナー」（Zoom開催）

報告者

館洞 晋也（愛知県多文化共生推進室）

大島ヴェルジニア・ユミ（ブラジリアンコミュニティ通訳塾[®]-トの会）

ラッフマ・クマラ・デウィ（日本インドネシア家族勉強会）

王 榮（あいち多文化ソーシャルワーカーの会）

共催：多文化共生研究所、愛知県立大学地域連携センター、あいち多文化ソーシャルワーカーの会、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、多文化ソーシャル・ムーブメント（TSM）

② 10月28日(水) 「学習・生活支援事業の論点：教育と福祉の〈協調〉と〈対立〉」(Zoom開催)

報告者

山田 恭平(特定非営利活動法人 こども NPO 副理事長)

寺谷 直輝(愛知県立大学人間発達学研究科博士後期課程)

大貫 守(愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授)

野田 博也(愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 准教授)

共催：愛知県立大学地域連携センター

③ 12月4日(金) 「虐待防止・対応セミナー」(Zoom開催)

報告者

葛西 耕介(愛知県立大学教育福祉学部 准教授)

水野みち代・酒井多輝子(SSW)

高木 敦子(瀬戸市発達支援室長)

梅山 佐和(東京学芸大学教育学部 准教授)

共催：瀬戸市教育委員会、地域連携センター

(教職員支援機構からの委託事業「スクールソーシャルワーク・リーダー研修」を公開)

(2) 発達障がいフォーラム

・8月21日(金) 「ウィズコロナ時代の子育てを考える」(Zoom開催)

講師：荒井 聡(豊島区保育園巡回相談アドバイザー)

共催：瀬戸市教育委員会及び瀬戸市発達支援室

4. その他

瀬戸市教育委員会と生涯発達研究所共催の「スペイン語学習教室」の取り組みを、2019年度に準備し、2020年度6月から瀬戸市内で開催した(12月までで23回開催)。この支援活動を通して、スペイン語圏の子どもたちの母語での読み書き能力を高めるため指導方法を実践的に研究していく。